



森下仁丹

報道関係各位

2013年10月4日
森下仁丹株式会社

11月はカリフォルニアざくろが旬の季節です

**米国ざくろ協会主催のセミナーを後援し
ざくろの抗糖化研究の成果を発表しました**

共同発表：岡山県立大学 伊東秀之教授

※「カリフォルニアざくろの魅力 2013年度プレスセミナー」(主催：米国ざくろ協会、カリフォルニアざくろ東京広報事務局)

森下仁丹株式会社(本社：大阪市中央区／代表取締役社長：駒村純一)は、カリフォルニア産ざくろの本格シーズンが始まる11月を前に開催された、米国ざくろ協会、カリフォルニアざくろ東京広報事務局主催のざくろの魅力をお伝えするセミナー「カリフォルニアざくろの魅力 2013年度プレスセミナー」(日時：2013年10月3日(木) 会場：社団法人日本外国特派員協会 20F メディアラウンジ)に後援しました。本セミナーにおいて当社は、共同研究の岡山県立大学伊東秀之教授とともに、ざくろ研究の成果を「ざくろポリフェノールの新しい機能性～抗糖化作用～」と題し発表しました。



米国ざくろ協会代表トム・カール・チェランセン氏



カリフォルニアざくろ

本セミナーは、アンチエイジングや美容分野で今後ますます期待されるざくろの最新情報を紹介する、報道関係者を対象としたセミナーです。当日は、米国ざくろ協会代表トム・カール・チェランセン氏が来日し、11月に本格シーズンを迎えるカリフォルニアざくろの最新収穫情報をお話されたほか、美容食スペシャリストの飯野耀子先生がざくろと美容についてお話しされました。

当社は、古くから食用果実として利用されているざくろに注目し、その様々な機能に関する研究を進めてまいりました。岡山県立大学、九州大学との共同研究により、ざくろに含まれるポリフェノール成分の「抗糖化作用」と「長寿遺伝子活性化作用」を発見し、その研究成果を2013年6月の「第13回日本抗加齢医学会総会」で発表した他、当社の「ざくろの新たな機能性研究および栽培条件等の検討」が、農林水産省の補助事業「平成25年度 緑と水の環境技術革命プロジェクト事業」に採択されるなど、ざくろの機能性研究を進め、ざくろを利用した製品開発を進めております。

- ※ **抗糖化**：人の体の中で、糖とたんぱく質(コラーゲンなど)が反応して最終糖化産物ができますが、これをできないようにする作用で、近年の研究で、肌老化(特に、シワ、ハリの低下、黄ばみ)などは、この「糖化」が原因の一つと言われており、アンチエイジング研究で注目される分野の一つです。
- ※ **長寿遺伝子**：サーチュイン遺伝子や抗老化遺伝子とも呼ばれ、カロリー制限などでも活性化される遺伝子。これまでに7種類発見されており、この遺伝子が活性化されると、様々な疾患の改善に繋がることがわかってきています。近年アンチエイジング研究の中でも、精力的に研究が行われている分野の一つです。

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 広報宣伝 G 担当：磯部・本山 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108
共同PR株式会社 第四業務局 担当：長尾・呉 TEL:03-3571-5275 FAX:03-3574-1005

